



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

イラン：第11期イラン大統領選挙の立候補者

第11期イラン大統領選挙は、6月14日（金）に実施される予定である。同大統領選挙には、女性30人を含む686人が立候補していた。

5月21日、憲法擁護評議会は、次の8人の候補者に関し、立候補資格を承認した。改革派の指導者ハータミー前大統領の支持を受けた穏健派のラフサンジャーニー元大統領（公益判別評議会議長）や、大統領派のマシャーイーNAM（非同盟諸国）事務局長（大統領顧問）は、立候補資格を認められなかった。

保守派（原則主義派、最高指導者派）

- ・ サイド・ジャリーリー [SNSC（国家安全保障最高評議会）書記。核交渉の責任者]
- ・ モハンマド・バーゲル・ガーリーバーフ（「1+2」連合。テヘラン市長）
- ・ アリー・アクバル・ヴェラーヤティー（「1+2」連合。最高指導者外交顧問）
- ・ ゴラームアリー・ハッダードアーデル（「1+2」連合。元国会議長）

保守派（独立派）

- ・ モフセン・レザイー（公益評議会書記。元革命防衛隊司令官）

保守穏健派

- ・ ハサン・ロウハーニー（公益判別評議会戦略研究所所長。ハータミー政権時の SNSC 書記）
- ・ モハンマド・ガラズイー（元石油相、元郵政通信相、元国会議員）

改革派

- ・ モハンマド・レザー・アーレフ（ハータミー派。ハータミー政権で第一副大統領）